NEWS RELEASE

2026 年 11 月 24 日

スズキ、湖西市および豊橋バイオマスソリューションズと バイオガス利活用実証事業に関する連携協定を締結

～地域資源由来のバイオガスを活用した CNG 車の公道走行実証～



スズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：鈴木俊宏、以下「スズキ」）は、静岡県湖西市（市長：田内浩之）および株式会社豊橋バイオマスソリューションズ（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：熱田洋一、以下「豊橋バイオマスソリューションズ」）と、地域資源循環型エネルギーモデルの実現に向けたバイオガス利活用実証事業（以下「本事業」）を推進する連携協定を 11 月 24 日に締結しました。

本事業は、地域資源から生み出されたバイオガスを燃料として CNG 車の公道走行実証を行い、その有効性や実用性を検証するものです。湖西市では、これまで豊橋バイオマスソリューションズと連携し、下水汚泥などの地域バイオマスからバイオガスを生成する実証に取り組んできました。この度、スズキは、バイオガス精製装置、充填装置および CNG 車を提供し、本事業に参画します。

スズキは、地域社会との連携のもと、地域資源の有効活用を推進するとともに、マルチパスウェイによるカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

※ CNG 車：圧縮天然ガス（Compressed Natural Gas）を燃料とする自動車

● スズキ株式会社 代表取締役社長 鈴木俊宏 のコメント

「スズキは、インドにおいて、牛糞から生み出したバイオガスで、CNG 車を走行させる取り組みを進めています。地域資源からエネルギーを生み出すことは、カーボンニュートラルへの貢献に加え、地域経済の活性化やエネルギーの安定確保にもつながると考えます。スズキが事業拠点を置く湖西市において、バイオガスを CNG 車の燃料として活用する実証に三者で取り組めることを大変意義深く感じています。今回の取り組みが一つのモデルケースとなり、それぞれの地域が持つ資源や特性に合わせたバイオガスの利活用が全国各地へ波及するよう、引き続き尽力してまいります。」

以上